

新型コロナウイルスの影響で小学校が休校となりましたね。アローズでも日頃の練習だけでなく総会なども中止せざるを得ない状況となりました。この事態が早く終息し、通常の生活が戻ることを切に願います。
 今年はまだ新役員へのハトンタッチが行われていませんが、2019年度の役員の皆様お疲れさまでした。新役員の皆様、これからの1年間どうぞよろしくお願いたします。



試合結果報告 (2月)

| 学年 | 試合日 / 大会名 | 勝敗 / スコア / 対戦相手 | 備考 |
|----|-------------------------------------|---|---|
| 6年 | 2/1 CTC三回戦 | ●0-5 市川FCレーベレッド | 6年生、最後の公式戦でした。なかなか、自分達のプレーをさせてもらえず苦しい試合でしたが頑張りました。CTC3回戦まで勝ち上がることができたのはよかったと思います！ |
| | 2/11 若葉カップ | ●1-2 北貝塚FC ●1-2 みずほFC | 負けてしまいましたが一点とれたのはよかったと思います。 卒団まであと少しです。 チーム一丸となって残り少ない試合を楽しんでもらいたいです |
| 5年 | 2/1 アローズカップ | ○2-0 柏台JSC ○2-0 中野木FC ●1-2 市川真間とろんこSC ●0-2 葛城FC ●PKO-2 船橋若松FC (4位、5位決定戦) | 今後の課題が見えてきた、いい試合だったと思います。 残念ながら、メダルに届きませんでしたが、子供達のこれからの成長が楽しみです！！ |
| | 2/15 大木戸SC TRM (4.5年合同) | ○2-1 ●2-3 △1-1 | 段々と疲れが出てきていましたが、コーチからの課題をしっかりとこなし、いい練習試合ができました。 |
| | 2/24 行田東TRM | △0-0 △1-1 △1-1 △0-0 | 全試合引き分けですが、選手だけでなく、コーチ、保護者達も歓声のあがる大盛り上がりのもとても良い試合でした。 |
| 4年 | 2/11 木更津FC TRM | ○3-0 ○1-0 ○1-0 ○3-0 ○1-0 ○5-0 ●0-2 ○3-0 ○2-1 ○1-0 ○2-1 | 昨年勝つのがなかなか難しかった木更津FCさんに勝ち越す事が出来ました！ 一人ひとりの成長も感じ、また新しい仲間も入りとても良い練習試合でした。 |
| | 2/24 4年香澄杯 | △1-1 幕張西 ●0-2 香澄Y 予選2位通過 3位決定戦 ●0-7 中志津 結果4位 | 4年の終わりになるにつれ3年は勿論のこと4年生同士でもフィジカルの差がでた試合になってしまいました。その中でどうやったら打開できるかの予測力、判断力を身につけて今後に繋げていきたいです。 久々の大敗、決して無駄な大敗ではないと思っています。 この悔しさをバネに頑張ってもらいたいです。 必ずリベンジできる日がきます。 |
| 3年 | 2/2 3・4年TRM | ●0-3 B.BLUE ●0-1 イーグルス △1-1 B.BLUE ○2-0 イーグルス △1-1 B.BLUE ●0-1 イーグルス △0-0 B.BLUE ○5-0 イーグルス | トラップの大切さを改めて感じた半日でした。 |
| | 2/9 ミハタSC相模原/イーストジュニアFC(浦安) 3・4年TRM | <8人制>15分×1本 △0-0 ミハタSC相模原 ○7-0 イーストジュニアFC(浦安) ○3-0 ミハタSC相模原 △1-1 イーストジュニアFC(浦安) ○1-0 ミハタSC相模原 ○4-0 イーストジュニアFC(浦安) ○1-0 ミハタSC相模原 ○2-0 イーストジュニアFC(浦安) | 皆がいろいろなポジションを経験することで、 少しずつ視野が広がり、OLも徐々に定着してきている 事が確認出来たTRMになりました。 |
| | 2/15 CFC TRM | <8人制>15分×1本 ○1-0 ○3-0 ○7-1 ○2-0 ○5-0 ○7-0 | 色々なポジションを体験しそれぞれの役割を確認しながら取り組みました。 結果は全勝で終わることができていい組み立てができたと思います。欲を言えばみんなの声がけサポートがもっと出るとういなど感じました。 |
| 2年 | 2/9 葛城招待試合 | ○2-0 幕張リパティーズ ●0-2 谷津 ●0-4 西小中台 ●0-2 ライオンズ ○2-0 のさか ●0-3 宮野木 ●0-2 葛城 | 本日は強風の中、厳しいコンディションでしたが最後まで頑張りました。 |
| | 2/11 中野木杯(予選) | △1-1 ユーカリが丘SC △1-1 薬円台南FC ●1-6 船橋KSCブルー | 初めての7人制の試合で慣れないところもありましたが、よく頑張っていました。次の順位戦に向けて頑張ってください。 |
| | 2/15 中野木杯(順位戦) | ●1-1 習志野台FC PKO-1 ●0-4 二宮FC ○4-0 船橋KSCレッド | 二日間で最後になんとか1勝することができましたが、まだまだ実力が出ていないように思います。 普段の練習を真剣に取り組み、試合にいかせるようがんばってほしいです。 |

| | | | |
|----|----------------|---|--|
| 1年 | 2/24 HAMANOカップ | チームアローズ | 交代要員のいない中、今日は全員の気持ちが途中で切れることなく、最後までよく動けていたと思います。得点に繋がりそうな惜しい場面がいくつもありました。パスも少し繋がる部分もあり勝ちこそなかったものの、次に繋がるいい試合ができたと思います |
| | | △ 1-1 HAMANO JFC ブラック ● 0-3 東習志野FC B △ 0-0 成田SSS △ 1-1 東習志野FC A ● 0-1 バサニオール菅田FC M チームスワローズ (スワローズ・アローズ合同チーム) ★3位★ ○ 2-1 高根東SSS ○ 5-0 バサニオール菅田FC M ○ 4-0 小倉FC ● 2-5 バサニオール菅田FC W ○ 0-0 Jホクワーツ PK (2-0) | 5試合中、4試合に勝てたことが良かったです。バサニオールさんのプレスにも負けずよく頑張りました。3位決定戦ではみんな最後までよく頑張れ、GKのスーパーセーブが入賞です。 |

TOPICS

1年生 HAMANOカップ



チームスワローズ
★第3位★



スワローズ3名+アローズ3名の合同チームで出場しました。

準決勝では、今までの対戦で得点すらできなかった強豪相手でしたが、プレッシャーをかけ続けて相手のミスを誘い、仲間がボールを奪われても、お互いにカバーし合ってゴールに繋がりました。

結果的には負けてしまいましたが、初めて得点できた事、また選手各々の頑張りが表れたとても良い試合でした。きっと次につながる事と思います。

3位おめでとう！
スピードガンコンテスト優勝おめでとう！

須田コーチより

6年生のみなさん、もうすぐ卒業ですね。
おめでとうございます。

3月28日に予定している卒団式の開催については今後のコロナウイルスの感染状況を見て判断されます。開催の場合には例年より準備期間の短い中での開催となります。皆様のご協力をお願いいたします。



～ 監督のおはなし ～

怒りからは何も生まれない

新型コロナウイルスの影響で打撃を受けていないという人は殆どいないのではないかと、ある意味、紀末とも思える状況の中ではありますが、一刻も早く収束に向かうことをただただ祈るばかりです。皆様におかれましても、絶対に感染なんてしないぞ！という強い気持ちで乗り越えていって欲しいと思います。

さて、先日こんなタイトルのドリブルテクニック動画をたまたま目にしました。そのタイトルは『怒りを忘れるな ～成長するために一番大切なもの～』というものでした。

内容としてはドリブル講師がスクール生に向けてあれこれスピーチをしているのですが、ポジションを奪われた、バカにされた、笑われた、など、その様な時は怒れ！ムカつくという気持ちをずっと持ち続けろ！などと負のエネルギーを力に変えろ！と言ったものでした。

未来ある子供達にこのようなことを声を大にして伝えている若い指導者が、しかも、有名であろうドリブル塾の人気動画でこんなことを堂々と語っていることに大変違和感を覚えました。

上手くなるためのプロセスや条件は人それぞれですが、怒りや嫉妬などというものがエネルギー源となって上手くなったとしても、選手である以前に人として人間社会を生き抜いていくために必要な、思いやり、相手を敬う心、ものごとを前向きに楽しめる心、相手を許す寛大な心、いかなる状況下においても冷静な判断力、知識や体力を発揮できる力、などを身に付けていくことの方が大切です。

同じレベルで上手くなったとしても、また、例えば同じ代表の舞台に立ったとしても、それぞれが異なる思いをエネルギーとして成功に辿り着いた場合、おそらくサッカーを通じて自分が得るであろう、または人々に与える幸福感は全く異なったものになってしまいます。

こんな言葉があります。

『劣等感による努力は、成功しても失敗しても、その劣等感を更に強化する。』

この言葉の意味お分かりになりますでしょうか。

怒りや強い嫉妬は劣等感から生まれるものであり、そのような負のエネルギーから始まった努力が失敗に終わった場合、やはり自分はダメなんだと更に落ち込み、また、例え成功したとしても、これまで見下されてきたことへの仕返しのような気持ちとしてさらに劣等感は増幅するでしょう。

では、怒りの感情ではない正しいエネルギーとはどのようにして得ることが出来るのでしょうか。

それは日頃の技術や知識、肉体的トレーニングを積み重ねてきた成果を、到底敵わない強い相手に本気で表現しようと戦った経験からしか得ることが出来ません。

アローズの活動は週に2日間の内の数時間程度です。そのたった2日間の数時間という短い時間でどれだけ集中して本気で取り組めるかがとても大切です。

強い相手は確かにフィジカルにも恵まれ、足も速く、テクニックも周りのレベルよりも長けていますが、やはり夢を描いて前向きにひたすら努力をしています。目つき、たたずまいが違います。

将来のなりたい自分像を思い描けるほどサッカーが大好きなんでしょう！

以前にも話しましたが、子供は何でも大好きにさえさせてしまえば、あとは勝手に上手くなっていきます。試合後の車の中での反省会では絶対に上手くなりません。

そういう子は『怒り』をエネルギーとしてサッカーをしていますし、また、これからも『怒り』を持ち続ける選手としてこの先に送り出してはいけません。

本気で戦うときこそ『怒り』が邪魔になるものはありません。『怒り』というものは普段だったら犯さないミスや判断を誘発させてしまいます。それは大人でも同じです。

大事な試合で勝てないのは、相手の強さに対して何も出来ない自分に対する不安や恐怖からくる『怒り』が原因です。

サッカーも人生もある意味戦いです。

戦いに勝つために必要なのは『冷静な判断』です。

日頃の練習から本気で自分の限界に挑戦し、本番の試合では『冷静に』心にゆとりを持って臨み、サッカーを純粋に楽しめることが大切です。

大人達も同じく純粋に子供達のプレーを楽しみ応援していきたいものです。

怒りとは正反対の前向きな努力で挑んだことには、例え失敗したとしても、それは『糧』になりますし、また、成功すれば、それは『自信』として、子供達を大きく成長させてくれる大きなエネルギーとして身に付けることが出来るでしょう。